



平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 コンドーテック株式会社

コード番号 7438 URL http://www.kondotec.co.jp

代表者(役職名)代表取締役社長

問合せ先責任者(役職名)常務取締役管理本部長

四半期報告書提出予定日 平成22 配当支払開始予定日 —

平成22年2月12日

(氏名) 菅原 昭

(氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日~平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		売上高営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	20,699	△20.4	773	△56.5	780	△56.1	536	△47.2
21年3月期第3四半期	25,990	_	1,776	_	1,777	_	1,017	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	41.43	_
21年3月期第3四半期	80.03	_

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	22,863	13,812	60.4	1,065.68
21年3月期	24,667	13,991	56.7	1,079.47

(参考) 自己資本

22年3月期第3四半期 13,812百万円

21年3月期 13,991百万円

2. 配当の状況

<u> </u>										
	1株当たり配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭					
21年3月期	_	13.00	_	13.00	26.00					
22年3月期	_	13.00	_							
22年3月期 (予想)				13.00	26.00					

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	28,044	△15.7	802	△58.0	796	△58.3	554	△49.4	42.80

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則·手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
 - (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 13,528,500株 21年3月期 13,528,500株 2 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 567,115株 21年3月期 567,065株 3 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 12,961,409株 21年3月期第3四半期 12,715,820株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。 なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定期的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定期的情報をご覧下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や新興国経済の回復に牽引され、輸出や生産が増加していることなど一部に景気持ち直しの兆しが見えるものの、その勢いは力強さに欠け、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化、円高やデフレ局面の進行から、景気回復の実感がつかめないまま推移しております。

当社関連業界におきましては、設備投資の抑制により工場などの建築物の着工は低迷し、同業他社との販売競争に一層拍車がかかるなど、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は製品の拡販、新規開拓や休眠客の掘り起こし、販売先におけるインストアシェアの拡大など諸施策を講じてまいりました。当第1 四半期会計期間におきましては、前第4 四半期会計期間と比較して、販売数量と販売価格はともに減少しておりましたが、当第2 四半期会計期間以降は前述の諸施策が奏効し、販売数量は増加に転じております。その結果、当第3 四半期累計期間の売上高は製品が4,313 百万円(前年同期比26.3%減)、商品が16,386 百万円(同18.6%減)となり、売上高合計は20,699 百万円(同20.4%減)となりました。

利益につきましては、競争激化による販売価格の下げ圧力は依然として厳しく、当第3四半期累計期間の売上総利益率は22.2%となりましたが、鋼材などの原材料や仕入商品の価格引下げに努め、第3四半期会計期間は第2四半期会計期間の22.1%から1.0ポイント上昇し23.1%となりました。販売費及び一般管理費におきましては、役員報酬の減額をはじめ販売管理費の削減を全社的に取り組み、3,820百万円(同6.3%減)となりました。その結果、営業利益は773百万円(同56.5%減)、経常利益は780百万円(同56.1%減)、四半期純利益は536百万円(同47.2%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,804百万円減少し、22,863百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ 1,155 百万円減少し、14,078 百万円となりました。主な要因は、信託受益権が 1,057 百万円増加したものの、現金及び預金が 1,241 百万円、売上債権が 501 百万円、たな卸資産が 302 百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ 649 百万円減少し、8,784 百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が 154 百万円、投資有価証券の時価評価替などにより投資その他の資産が 618 百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ 1,625 百万円減少し、9,050 百万円となりました。主な要因は、仕入債務が 323 百万円、未払金が 606 百万円、未払法人税等が 259 百万円、賞与引当金が 304 百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ178百万円減少し、13,812百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が382百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末から3.7ポイント上昇し60.4%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は2,656百万円となりました。前事業年度末に比べ、1,241百万円減少となりました。なお、当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、仕入債務及び賞与引当金の減少、さらに法人税等の支払などの減少要因があった ものの、売上債権及びたな卸資産の減少などの増加要因があったことにより、218 百万円の収入とな りました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、投資有価証券の売却による収入があったものの、機械及び装置などの有形固定資産、ソフトウエアなどの無形固定資産及び信託受益権の取得による支出があったことにより、1,123百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、配当金の支払いにより336百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想につきましては、平成21年7月30日発表の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 たな卸資産の算定方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円) 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 当第3四半期会計期間末 (平成21年3月31日) (平成21年12月31日) 資産の部 流動資産 現金及び預金 2,656,993 3, 898, 770 受取手形及び売掛金 8, 305, 146 8,806,690 1, 479, 692 1, 736, 103 商品及び製品 仕掛品 106, 125 104, 417 原材料及び貯蔵品 298, 419 345, 780 信託受益権 1,057,949 その他 395, 829 225, 532 貸倒引当金 $\triangle 51,585$ \triangle 53, 819 流動資産合計 14, 078, 273 15, 233, 772 固定資産 有形固定資産 建物 4, 957, 939 4, 951, 523 減価償却累計額 $\triangle 3,019,286$ $\triangle 2,927,146$ 土地 4, 799, 900 4, 799, 450 建設仮勘定 37,080 その他 5, 530, 041 5, 539, 689 $\triangle 4,726,989$ 減価償却累計額 $\triangle 4,630,480$ 有形固定資產合計 7, 578, 685 7, 733, 036 無形固定資産 208, 103 84, 453 投資その他の資産 その他 1, 102, 972 1, 709, 123 $\triangle 104,929$ △92, 714 貸倒引当金 998, 042 投資その他の資産合計 1, 616, 408 固定資産合計 8, 784, 831 9, 433, 898 資産合計 22, 863, 104 24, 667, 671 負債の部 流動負債 支払手形及び買掛金 3, 780, 535 4, 104, 181 未払金 2,982,860 3, 589, 351 未払法人税等 129,021 388, 751 504, 419 賞与引当金 200, 216 509, 999 その他 531, 777 7,624,411 9, 096, 703 流動負債合計 固定負債 退職給付引当金 1, 125, 538 1,004,183 300, 519 575, 309 その他 固定負債合計 1, 426, 057 1, 579, 492 9,050,468 負債合計 10, 676, 196

())///			_	_
(単化	77	•	千	ш
(1	1/.		- 1	ı

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 328, 100	2, 328, 100
資本剰余金	2, 096, 170	2, 096, 170
利益剰余金	11, 004, 463	10, 804, 522
自己株式	△498, 416	△498, 386
株主資本合計	14, 930, 316	14, 730, 406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	446, 240	828, 383
繰延ヘッジ損益	5, 538	2, 143
土地再評価差額金	$\triangle 1,569,458$	$\triangle 1, 569, 458$
評価・換算差額等合計	△1, 117, 679	△738, 932
純資産合計	13, 812, 636	13, 991, 474
負債純資産合計	22, 863, 104	24, 667, 671

(2) 四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

	前第3四半期累計期間(自平成20年4月1日	(単位:千円) 当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	至 平成20年12月31日)	
元工局 売上原価	25, 990, 188 20, 134, 678	20, 699, 907 16, 105, 729
売上総利益	5, 855, 509	
	5, 855, 509	4, 594, 183
販売費及び一般管理費 給料及び手当	1 220 055	1 9/1 99
海科及の子ョ 賞与引当金繰入額	1, 230, 955 158, 840	1, 241, 28 150, 57
退職給付費用	96, 696	159, 14
荷造運搬費	739, 349	680, 24
貸倒引当金繰入額	91, 905	18, 34
その他	1, 761, 721	1, 571, 14
販売費及び一般管理費合計	4, 079, 468	3, 820, 73
営業利益	1, 776, 041	773, 44
営業外収益		<u> </u>
受取利息	42	1, 57
有価証券利息	-	2, 33
受取配当金	1, 916	1, 46
仕入割引	16, 420	10, 35
補助金収入	20, 000	-
助成金収入	-	14, 08
雑収入	11, 876	11, 54
営業外収益合計	50, 255	41, 37
営業外費用		
売上割引	35, 344	27, 19
為替差損	5, 712	1, 81
雑損失	7, 939	5, 57
営業外費用合計	48, 996	34, 58
経常利益	1,777,300	780, 23
特別利益		
投資有価証券売却益	524	178, 90
固定資産売却益	333	
特別利益合計	858	178, 90
特別損失		
たな卸資産評価損	14, 172	_
固定資産処分損	5, 818	_
固定資産売却損	_	8, 34
固定資産除却損		1, 37
特別損失合計	19, 991	9, 72
税引前四半期純利益	1, 758, 166	949, 41
法人税、住民税及び事業税	576, 000	301, 90
法人税等調整額	164, 567	110, 57
法人税等合計	740, 567	412, 47
四半期純利益	1, 017, 599	536, 93
→ 1 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \		550, 55

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書		(単位:千円)
	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1, 758, 166	949, 410
減価償却費	320, 472	280, 146
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	78, 895	9, 980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	_	△304, 203
長期未払金の増減額(△は減少)	$\triangle 227,495$	_
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52, 542	121, 354
受取利息及び受取配当金	△1,958	△5, 380
投資有価証券売却損益(△は益)	△524	△178, 900
有形固定資産処分損益(△は益)	5, 485	_
有形固定資産売却損益(△は益)	_	8, 343
有形固定資産除却損	_	1, 376
売上債権の増減額(△は増加)	$\triangle 1, 153, 828$	501, 544
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75, 141	302, 064
仕入債務の増減額(△は減少)	485, 185	△905, 894
その他	<u></u> △119, 566	△15, 733
小計	1, 122, 235	764, 110
利息及び配当金の受取額	1,958	7, 371
法人税等の支払額	△897, 274	△553, 248
営業活動によるキャッシュ・フロー	226, 919	218, 233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 309,702$	$\triangle 113,761$
有形固定資産の売却による収入	416	_
無形固定資産の取得による支出	_	△132, 097
投資有価証券の売却による収入	1, 314	180, 000
信託受益権の取得による支出	_	$\triangle 1, 123, 103$
信託受益権の償還による収入	_	65, 154
その他	△3, 110	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311, 082	$\triangle 1, 123, 675$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△331, 716	△336, 814
自己株式の取得による支出	$\triangle 140$	$\triangle 30$
自己株式の売却による収入	216, 033	_
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115, 823	△336, 844
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	508
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△199, 918	△1, 241, 777
現金及び現金同等物の期首残高	2, 208, 258	3, 898, 770
現金及び現金同等物の四半期末残高	2, 008, 339	2, 656, 993
2022/20 2021/4 4 MA 12 FO 1 /M/12/VIE	=, ***, ***	=, 555, 555

- (4) 継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。

6. その他の情報 四半期品目別売上高

(単位:千円)

期 別 前第3四半期累計期間 当第3四半期累計期間						1 #000				:十円 <i>)</i>
州 別		別	前第3四半期累割		当第3四半期累割		1344	4-6	(参考)前事業	
			(自 平成20年4)		(自 平成21年4)		増	減	(自 平成20年4)	
			至 平成20年12	·	至 平成21年12	1			至 平成21年3	1
品目	別		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)	金額	構成比(%)
	金物	類	2, 893, 495	11. 1	2, 139, 403	10. 3	△754, 091	△26. 1	3, 672, 483	11. 1
	チェ	ーン	455, 207	1.8	406, 409	2. 0	△48, 798	△10. 7	594, 836	1.8
製	ワイヤロ	ュープ	154, 629	0.6	136, 068	0.6	△18, 561	△12. 0	202, 342	0.6
	建設	資材	1, 435, 538	5. 5	968, 374	4. 7	△467, 163	△32. 5	1, 804, 811	5. 4
品	鋲	螺	910, 768	3. 5	661, 017	3. 2	△249, 750	△27. 4	1, 110, 385	3. 3
	その	他	5, 656	0.0	1, 906	0.0	△3, 750	△66. 3	9, 701	0.0
	小	計	5, 855, 295	22. 5	4, 313, 180	20. 8	△1, 542, 115	△26. 3	7, 394, 560	22. 2
	金物	類	2, 481, 051	9.5	1, 906, 601	9. 2	△547, 449	△23. 2	3, 206, 652	9.6
	チェ	ーン	482, 139	1.9	396, 237	1. 9	△85, 902	△17.8	624, 154	1.9
商	ワイヤロ	ュープ	1, 601, 807	6. 2	1, 334, 475	6. 5	△267, 332	△16. 7	2, 039, 449	6. 1
	建設	資材	10, 935, 036	42. 1	9, 270, 103	44. 8	△1, 664, 932	△15. 2	14, 057, 511	42. 3
品	鋲	螺	3, 440, 591	13. 2	2, 534, 120	12. 2	△906, 470	△26. 3	4, 416, 640	13. 3
	その	他	1, 194, 265	4. 6	945, 188	4.6	△249, 077	△20. 9	1, 519, 382	4.6
	小	計	20, 134, 892	77. 5	16, 386, 727	79. 2	△3, 748, 165	△18.6	25, 863, 791	77. 8
合	ì	†	25, 990, 188	100. 0	20, 699, 907	100. 0	△5, 290, 280	△20. 4	33, 258, 352	100.0

⁽注)当事業年度より製・商品の品目別分類内容を変更しており、前第 3 四半期及び前事業年度につきましては新分類に置き換えて表示しているため、平成 21 年 1 月に公表した第 3 四半期及び平成 21 年 5 月に公表した事業年度の品目別売上高とは数値が異なっております。